

## 再生資材等の使用に関する特記仕様書

1. 受注者は、下記について再生資材を使用すること。なお、使用に際し、監督職員及び再資源化施設側（再生資材を製造する施設）と十分協議すること。

### （1）砕石・砂・アスファルトコンクリート・改良土

資 材 名	規 格	使 用 箇 所	備 考
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	基礎砕石、下層路盤	
再生密粒度アスファルト・コンクリート	骨材の最大粒径 13mm	表層工	

2. 使用に当たっては、島根県公共工事共通仕様書、舗装の構造に関する技術基準・同解説、舗装設計施工指針及びプラント再生舗装技術指針等を遵守のうえ、適正な品質を確保すること。

3. 再生クラッシャーランの原材料は、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、廃瓦及び砕石とし、ゴミ、泥、ガラス、陶磁器、レンガ、プラスチック、金属等の有害量含んではない。

また、次に示す品質および環境基準を満足することを製造業者が 1 年以内に行った試験の証明書等により確認しなければならない。

#### （1）再生クラッシャーランの品質

下層路盤材として使用する場合の品質は、島根県公共工事共通仕様書の第 2 編 材料編 表 2-4 再生砕石の粒度、第 3 編 土木工事共通編 第 1 章 総則 第 6 節一般舗装工 2-6-2 アスファルト舗装の材料表 2-1 6 下層路盤の品質規格の規定による。ただし、一部を以下のとおりとする。

1) P I は規定しない。

2) コンクリート塊の再生骨材、廃瓦の再生骨材のすり減り減量は 5 0 % 以下とする。

（ロサンゼルス試験器による粗骨材のすり減り試験（1 3 ～ 5 mm のもの））

下層路盤材以外で使用する場合は上記を準用する。

#### （2）環境基準

廃瓦を原材料として使用している場合は、平成 2 1 年 3 月 3 1 日付け廃第 8 0 9 号『廃瓦破砕物の土木資材としての再生利用に係る取扱いについて』に定められた有害物質の溶出量基準を満足すること。

4. 再生クラッシャーランについては、施工計画書の主要資材一覧表において、備考欄にその原料名を記載すること。（参考値として配合割合を記載すること）

なお、これを変更する場合には、監督職員と協議すること。

注) 再生砕石の原材料に、「コンクリート塊」「アスファルト塊」「廃瓦」「新材」以外を使用する場合には、廃棄物処理法に基づく「再生利用業個別指定」を受ける必要があるので、注意すること。

5. 再生アスファルト混合物のうち、アスファルト・コンクリート再生骨材の配合率は、1 0 ～ 5 0 % とし、配合設計書を提出し監督職員の確認を受けなければならない。なお、改質アスファルトを使用する再生加熱アスファルト混合物は再生骨材の配合率を 1 0 % 以下とする。

ただし、アスファルト混合物事前審査認定混合物は除く。

6. 工事発注後、再生資材の品質及び供給が得られない等やむを得ない事情により上記の指定によりがたい場合は別途協議すること